

エイジフレンドリーシティ 指標ものさしづくり ワークショップ

第5回 2018/2/13



エイジフレンドリーシティ宝塚
Age-friendly city Takarazuka

本日の流れ

- | | | |
|---|--------------------|-----|
| 1 | ものさしのイメージと推進方向性の共有 | 15分 |
| 2 | WS1 ものさし項目の整理 | 60分 |
| 3 | WS2 ものさし項目の価値付け | 30分 |
| 4 | 次回日程とアンケート記入 | 10分 |



ものさしのイメージ と推進方向性の共有



今までの流れ

回数	内容
第1回	<ul style="list-style-type: none">・ 自己紹介・ それぞれがイメージするエイジフレンドリーシティ
第2回	<ul style="list-style-type: none">・ 参加者が実践しているエイジフレンドリーな取組から定性的な要素の洗い出し
第3回	<ul style="list-style-type: none">・ 推進体制の提案・ ものさしについての率直な意見交換
第4回	<ul style="list-style-type: none">・ 第3回（意見交換）の整理・ エイジフレンドリーシティの定量的な要素の洗い出し



第4回振り返り

第4回ワークショップまとめ

柱	大項目	中項目	データ
人	人に優しい環境が整備されているまち宝塚	安心して外出できる	歩道の整備率 週あたりの外出日数（年齢別） 車椅子OKの店（介助犬） みんなが使えるトイレ位置図 安全で最短ルートを知る ※徒歩での外出 横断歩道の位置 カーボンテア、バス（コミュニティバス）など、交通手段の整備 65歳以上の方の交通手段 高齢者ドライバーのマップ 買い物・バス・タクシーの利用を希望する地域の人の数 移動サポート事業を開設 移動にサポートが欲しい人の人口 歩いていける拠点での文化活動の実施（音楽会、落語会など） 地域での文化事業のニーズ 自転車でも安心して走ることができる道 道路の幅 駐車場の有効活用、仁川周辺対策 駐車場の空き情報（コインパーキング含む）
		外出のきっかけづくり	最寄り駅の駅までの所要時間 サロンの場所・数 イクメン介護者情報 健康麻雀をしている人、したいと思う人の数 散歩コースの案内 ベンチ等の休憩場所 屋根の付いたベンチ 雨宿りのできる場所 歩道がある場所 雨の日、風の日でも休憩できるコースを作りたい 徒歩10分圏内であれば閉じこもり予防につながる 地域別スーパーの数（コンビニ、ドラッグストア含む） 徒歩15分圏内にどれだけの居場所（公民館、自治会館、民間施設等）があるのか サロン、介護教室のできる場所 遊びたい遊具がある公園に行ける 公園の遊具の種類 公園の情報 数・場所 広さ、遊べる遊具や施設 サイクリストが気軽に立ち寄れる場所を増やしたい イトインスペースのあるコンビニの数
		外出しなくても快適な生活が送れる	高齢者が必要としたときに使える介護以外のサービス（趣味、散髪、歯科など）
		子どもやママがすぐしやいまち	30人以上が集まれる所（小ホール） ピアノのある小ホール練習場 子どもが安心してすごせる図書室や施設 子ども食堂を必要とする子どもの数 子育て支援センターの設置 子育ての支援をしてほしい人口 子どもたちの放課後の居場所づくり 女性の就労率 車椅子、ベビーカーでも送れる歩道（歩道幅）以上がいくつあるのか 車椅子、ベビーカーでも安全に外出できる歩道

柱	大項目	中項目	データ
人	人に優しい環境が整備されているまち宝塚	弱者にやさしい町づくり	サロンの参加人数と活動内容 認知症に対する理解を、その家族だけでなく広く市民に知ってもらう 認知症で困っている人とその家族の数、住む所 認知症を支援する家族会、社協と繋がる バリアフリーな住まい 住宅改修補助事業決定件数 インターネットで情報を得る事のできない人をサポートする 情報がしかり行き渡るように 何を情報源としているか 災害時要支援の取組の障壁・・ 引きこもりの子ども・青年・中高年の数・地域 孤立している人の数、場所 重要地区見守り組織の立ち上げ事業 地域見守り組織数 引きこもり予防、健康寿命の長寿命化 自由に集うことのできる場 外出、外食による家族をふくめた孤立防止 認知症フレンドリーな飲食店、個人経営の店舗数
		地域資源の活用	地域をきれいにする 地域で行う清掃活動の回数 参加したい人、受けたい人への役立ち ボランティア種別 グループの存在場所 空き家、空き地を活用した活動の活性化 空き家、空き地情報 地域活動に利用 会合ができる場所 公園での活動（お祭り、運動会、清掃活動など）を通して、交流を深める 公園の数 重点地区サロン展開 自治会別サロン数 紙芝居や読み聞かせ入門、練習活動の紹介 紙芝居や読み聞かせに興味のある人の人口 環境に配慮、観光・インバウンド （アシスト付）レンタサイクルステーション（駅周辺）
		その他	銭湯を利用している人の数 毎朝ラジオ体操をやっている場所 100歳体操の行われている場所と人数 ゴミ出しに困る人を助ける方法

3つの柱に沿って、各テーブルで
出てきた意見をグループ化。
※赤字は事務局側が追記。



ものさしのイメージ

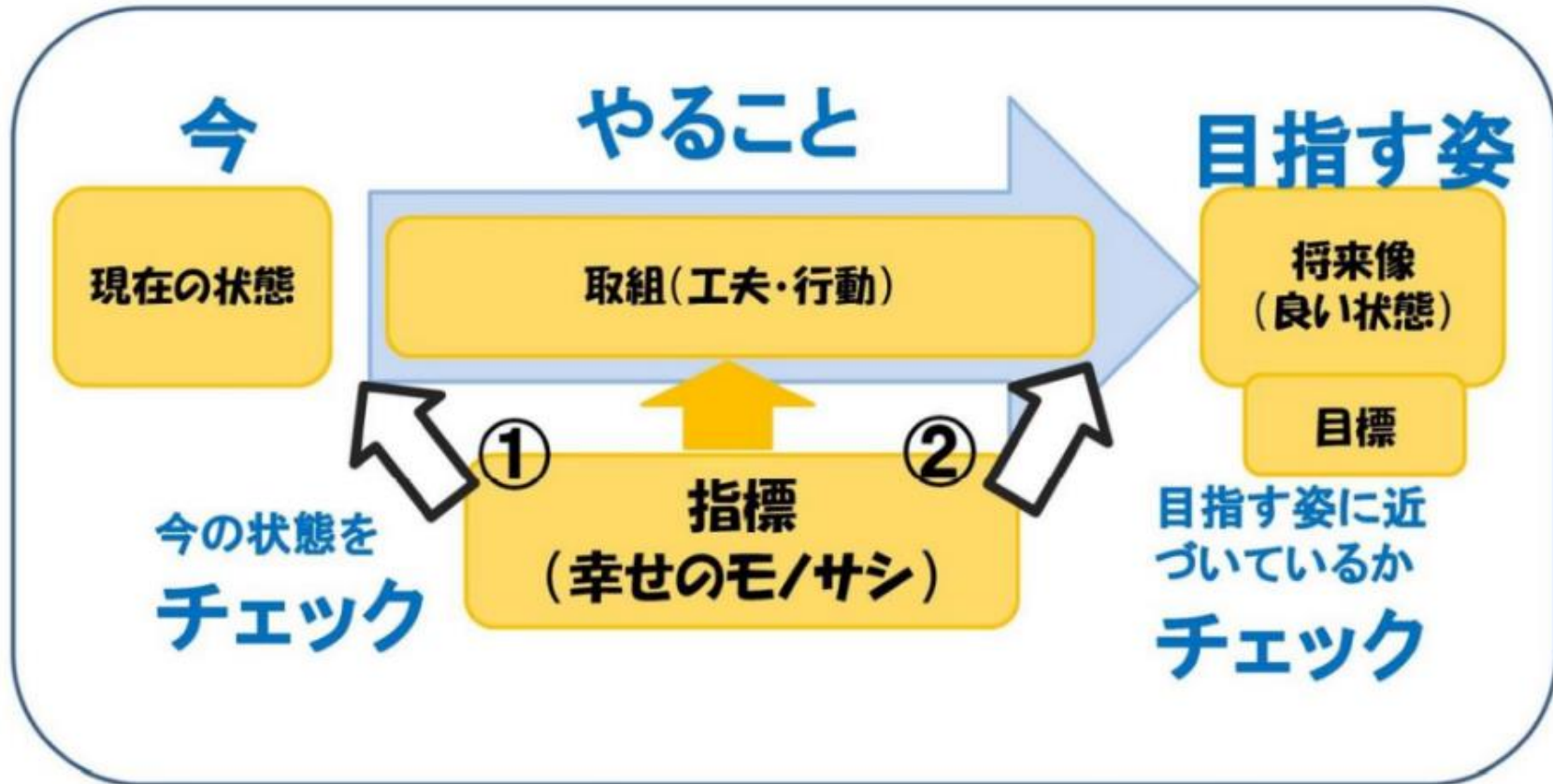


図2 ながくて幸せのモノサシのイメージ

『ながくて幸せのモノサシづくり事業報告書』より引用



ものさしのイメージ

宝塚市のエイジフレンドリーシティ

人に優しい環境が整備されているまち宝塚

外出のきっかけづくり

散歩コースを作る

【目盛の項目】

- ・ 歩道のある場所
- ・ ベンチ等の休憩場所
- ・ 雨宿りのできる場所

どこにあるのか？

何に必要なとなるのか？ →具体的な動きへと繋がる

誰が何をするのか？

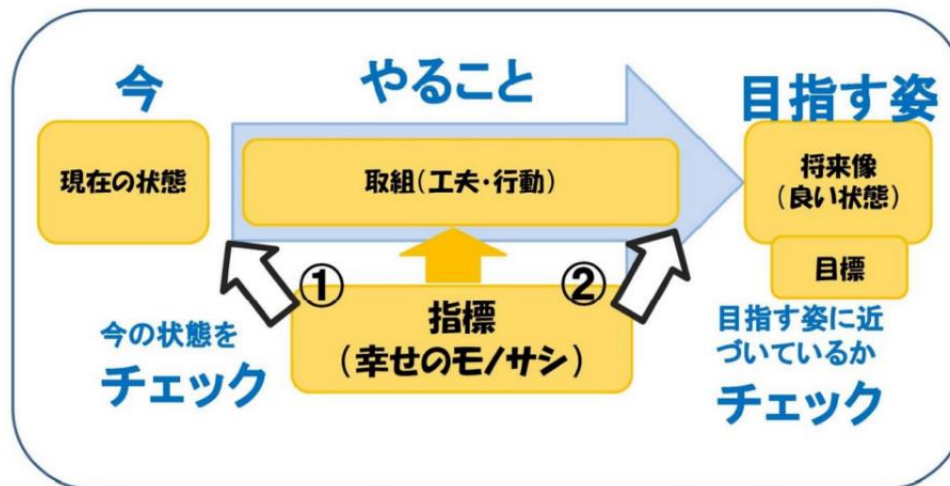
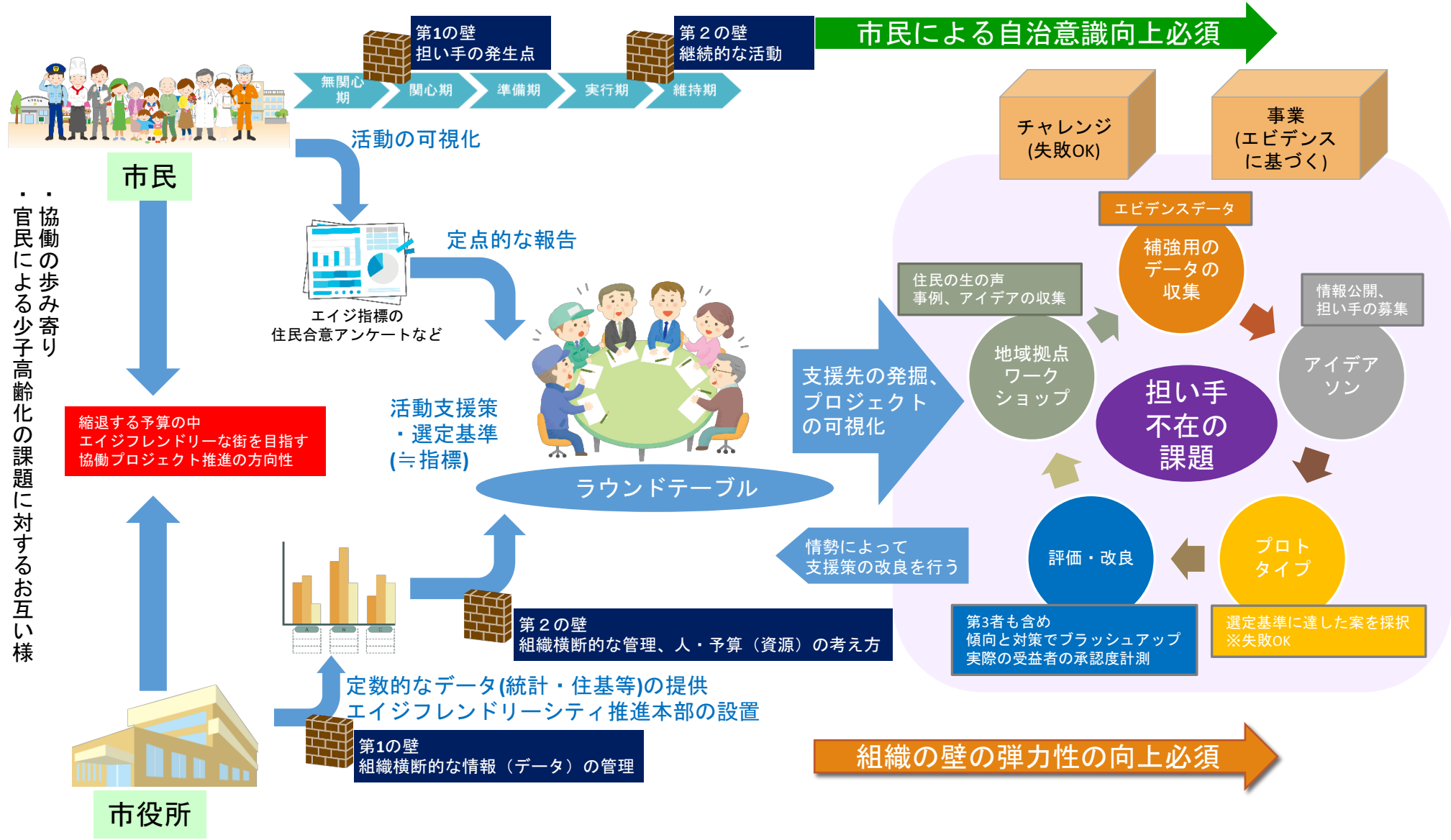


図2 ながくて幸せのモノサシのイメージ

『ながくて幸せのモノサシづくり事業報告書』より引用



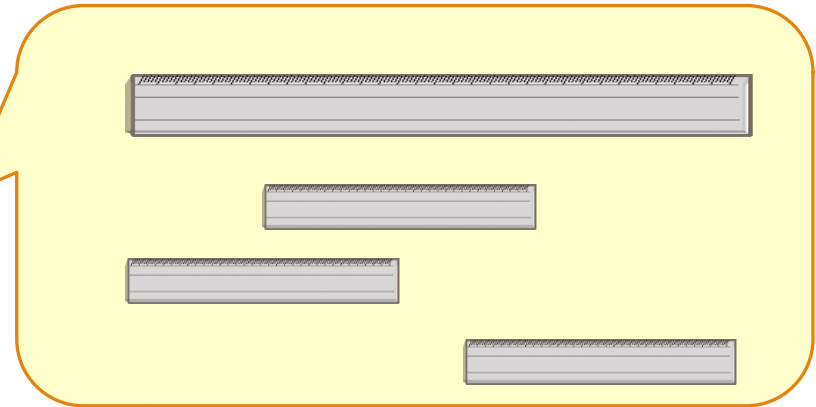
エイジフレンドリーシティ推進体制



ラウンドテーブルとは



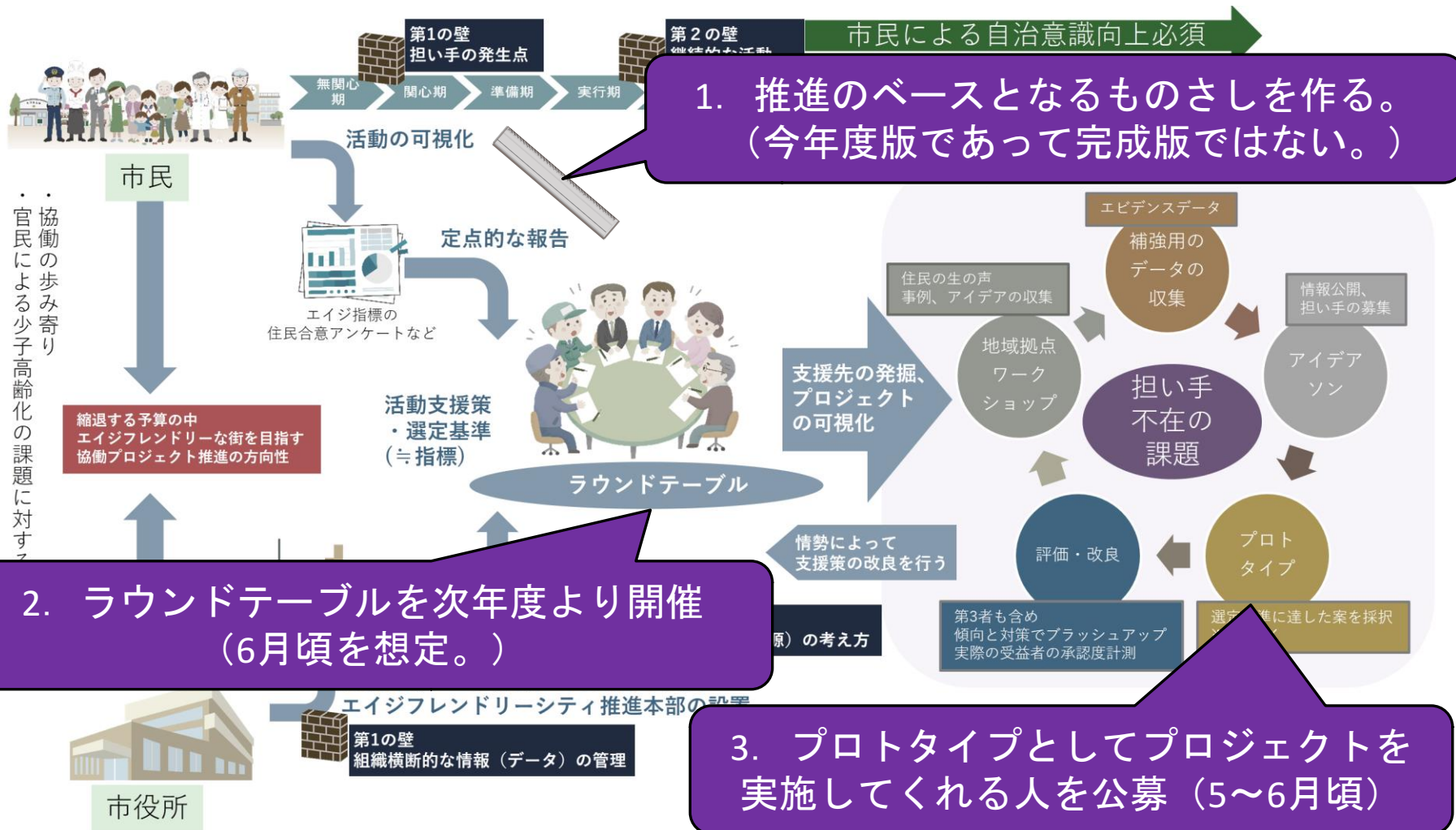
ラウンドテーブル



- ・ どのようなプロジェクトを支援していくか
- ・ 今まちの中で行われているエイジフレンドリーな取組を可視化していく
- ・ 既に推進している人たちのお困りごとを持ち寄って解決策を見出す



次年度の推進方向性



1. 推進のベースとなるものさしを作る。
(今年度版であって完成版ではない。)

2. ラウンドテーブルを次年度より開催
(6月頃を想定。)

3. プロトタイプとしてプロジェクトを
実施してくれる人を公募 (5~6月頃)



ワークショップ1

1. 整理されたものさしの項目を見て、新たに加えたい項目を各自で考えて、付箋に記入してください。（10分）
 - ・ 活用する目的は緑、必要な情報（データ）は青の付箋に記入して下さい。
2. 書き終わったら、テーブル毎にどのような意見が出たかを意見交換してください。話しながら、更に追加できそうな項目があればそれも書き加えてください。（10分）
3. 一枚の模造紙に各テーブルの付箋を集めていきます。前回分のコメントが既に貼られているので、そこに付け加えていってください。（10分）
4. 3つの指針毎に、出てきた項目のグループ分けを行います。それぞれ自由に分かれて、項目の整理を行ってください。（30分）



ワークショップ2

1. 整理された項目にたいして、優先度をつけていきます。
観点としては、
 - ・エイジフレンドリーを推めて行く上で効果が大きいもの
(例：より多くの地域で実施できるもの、
現実的かつニーズが大きいもの、など)です。
手元の柄が無いシールを、一人5枚まで貼り付けて下さい。
2. 続いて、自分がやりたいこと、興味があることがあれば
そちらにもシールを貼り付けてください。
手元の水玉柄のシールを貼りつつ、名前をシールの横に記入して
ください。枚数は何枚でも構いません。



次回事務局ミーティング

推進体制を次年度行うにあたり、ラウンドテーブルが効果的に実施できるよう、具体的な運営方法を話し合っていきます。

【ラウンドテーブルに必要なもの】

- ・ラウンドテーブルの名称変更に関する協議
- ・それぞれのフィールドで参加者を募る
(今回のWSメンバー中心に)
プロトタイプ実施：中さん、など。
ラウンドテーブル参加者：市民・行政双方から。
- ・具体的に支援する内容
(主に情報。推進委託費から回せる場合、いくらまでかも検討必要。)
- ・実施頻度（毎月？クール毎？）
- ・ラウンドテーブルに必要な決定権限の提案
- ・プロトタイプ参加者の募集方法決定

